

バリアフリーを推進します

フェリス女学院大学では、障がい※をもつ学生が、障がいをもたない学生と等しく学び、学生生活を送るために、すべての教職員と学生が、それぞれの立場で協力しながらバリアフリーを推進するサポート体制を実現します。

※病気やケガ等による一時的な状態も含まれます。

バリアフリー推進室は、この実現に向け、授業での情報保障や、学生生活支援、バリアフリー推進のための教育活動、情報収集・発信などをおこないます。ボランティアセンター内に位置し、バリアフリーコーディネーターが常駐しています。



イラスト / 後藤朝美(2006年度生)

バリアフリー学生スタッフ募集

自分のできる範囲で、身近なところから変えていく、キャンパスのバリアフリー推進にご参加ください。ご応募お待ちしております。
詳しくは、バリアフリー推進室まで。



〒245-8650 横浜市泉区緑園4-5-3
(緑園キャンパス2号館2階)

TEL 045(812)8315

FAX 045(812)8315

Email: barrierfree@ferris.ac.jp

開室時間 / 月曜日～金曜日10:00～18:00

2008年4月発行

バリアフリー推進室

Ferris University

BARRIER FREE



フェリス女学院大学

バリアフリーの実現に向けて



講義の内容が聞こえにくいので、理解できず困っている…



講義の内容や授業の様子を、筆記やパソコン入力によって文字情報として伝える「ノートテイク」が利用できます。



教科書やプリントの活字、板書の字が見えないので、理解できず困っている…



活字を電子データに変換し、それを使って、パソコンの画面読み上げソフトや、点字、拡大文字による読書ができます。



病気やケガのため歩行が難しく、教室移動に時間が足りず困っている…

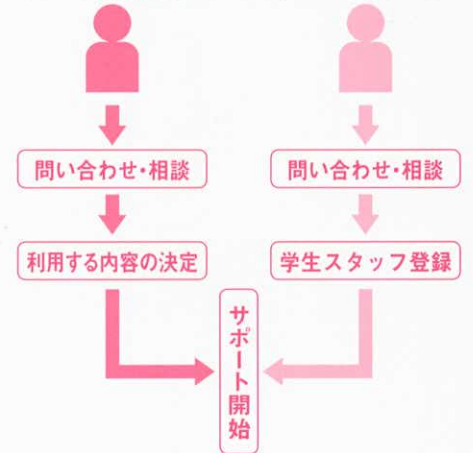


移動サポートを利用することで、時間に遅れないで授業に参加できます。

サポート利用とサポート活動の開始までの流れ

サポートを利用したい

サポートをしたい



バリアフリー学生スタッフとは

ノートテイク、電子データ化、移動補助、その他のサポートは、本学のバリアフリー学生スタッフがおこないます*。
バリアフリー学生スタッフは、講習会や研修会に参加することで、サポートのスキルアップを目指します。
*サポートの時間数に応じて謝金が支払われます。

その他にも

ニーズに対応した各種のサポートや、機器の貸出し、教員への配慮願い、教室変更、障がい学生奨学金の支給などもおこないます。
授業や学生生活でバリアを感じ、困っていることがあれば、バリアフリー推進室までご相談ください。